

ながさきTIMES

長崎で行われたホットなイベントや
市政の動きを紹介！

4 / 2 (日)

舞い上がれ！
色とりどりのハタが空へ

長崎の春の風物詩、ハタ揚げ大会が4年ぶりに唐八景公園で開催。晴天に恵まれ、穏やかな風が吹き、ハタ揚げには絶好の一日。色とりどりのハタが青空に舞っていました。また、会場では長崎ハタやバラモン麻の展示、長崎検番披露などもあり、多くの人でにぎわいました。



3 / 28 (火) 映画『生きる LIVING』
試写会開催

長崎市の名誉市民である作家カズオ・イシグロ氏が脚本を手掛けた映画『生きる LIVING』(3月31日◎全国ロードショー)の試写会をTOHOシネマズ長崎で行いました。応募の中から抽選で選ばれた約180人の市民が招待され、一足先に観覧しました。



©Number 9 Films Living Limited



3/19 (日) 地元を知って 地元を楽しむ!

長崎のもぎき恐竜パークで、地元魅力再発見コミュニティイベント「ReLOCAL」が開催。市内南部の「土井首」「深堀」「香焼」「伊王島」「高島」「野母崎」「三和」のローカルグルメの販売や「空き家を活用したまちづくり」の講演などが行われました。



3/16 (木) 3年ぶりに国際クルーズ船来航

新型コロナの影響で国際クルーズ船の受け入れができなかった長崎港に3年ぶりに、乗客約300人を乗せた国際クルーズ船「EUROPA2」が来航しました。船の着岸に合わせて、和太鼓の演奏が披露され、乗客はベランダから写真を撮ったり、拍手したりと楽しんでいました。



3/17 (金) 長崎をみんなで 住みよいまちに

「若い世代に選ばれる魅力的なまち」を目指し、若い世代を中心に住みやすい住宅を供給するため住宅施策の面から、「住みよかプロジェクト」に取り組んでいます。プロジェクトでは、まちづくりの担い手である市民や企業の皆さんと市が協力・連携し、住宅に関する地域課題を解決するための取り組みについて認定しています。今回は、下表の事業について認定しました。



認定番号	協力認定事業	事業実施者
第8号	「長崎暮らし」 ～YouTube等のSNSを活用した長崎市での暮らしの魅力発信～	品川 正之介 氏
第9号	若い世代の暮らしを支える地域の相談窓口 ～長崎暮らしの実現のために～	岸川 信吾 氏
第10号		品川 正之介 氏
第11号		前田 侑也 氏
第12号		岩本 諭 氏
第13号		阿部 美和子 氏
第14号		水野 新 氏
第15号		安達 考紀 氏
第16号	住宅に関する総合相談窓口	有限会社中村塗装 取締役 中村 巧 氏
第17号	ワンストップリノベーションで若い世代のライフスタイルを実現!	BROS 代表 鶴田 正敏 氏

3/23 (木) 段ボールの遊具でのびのび遊ぼう

石丸文行堂と日本紙器が取り組んでいる「ぶんちゃんランド」(石丸文行堂5階)がリニューアル!段ボール製のメリーゴーランドや滑り台、ブランコなどカラフルな遊具があり、子どもたちが無料で遊べる施設です。この取り組みを、まちのにぎわいを作り出すものとして、市の「まちぶらプロジェクト」に認定しました。



3/21 (祝) 「長崎で起業したい」を応援しています

長崎で起業を目指す人の発掘や育成、起業家のつながりを作ることを目的にしたプロジェクト「Nagasaki Startup Compass」。昨年度の締めくくりイベントが出島メッセ長崎で行われ、5組の起業家が熱のこもった事業アイデアを発表しました。グランプリを受賞した脇葵依さんは、「みんなが生涯働き続けられる社会をつくりたい」と発表しました。

3/20 (月) 「若者×シュガーロード」新商品が完成!

昨年度、市内の中小企業が若者と協働してシュガーロードに関する新商品開発を行うことを市が支援し、若者がチャレンジできる場を提供することを目的に「若者×シュガーロード」新商品開発支援事業を実施。株式会社 Attic coffee and dining、株式会社 EN、株式会社 すみやが学生と商品を開発しました。その完成報告会では、出島珈琲月餅や軍艦島マドレーヌ、シュガーロード詰め合わせセットなど、シュガーロードの魅力を発信する新たな商品が紹介されました。



3/28 (火) 株式会社インターアクションが長崎市へ立地

半導体の製造工程における検査光源装置において世界トップシェアを誇る株式会社インターアクション。同社は、長崎大学と連携して次世代パワー半導体製造に向けた技術開発に取り組む拠点を長崎市へ立地することと決定し、長崎市、長崎県の3者と立地協定を締結。新拠点「長崎開発センター」は、4月から出島町のながさき出島インキュベータ(D-FLAG)に開設し、5年間で10人を雇用予定です。



3/27 (月) 遠藤周作 生誕100年 特別企画展スタート

長崎ゆかりの作家である遠藤周作の生誕100年を記念した特別企画展「100歳の遠藤周作に出会う」が遠藤周作文学館で始まりました。遠藤周作の誕生日3月27日には式典が開かれ、遺族など約40人が出席しました。企画展では、遠藤周作の生涯を書籍やパネル展示などで紹介しています。来年9月26日まで開催していますので、ぜひこの機会に文学館を訪れてみませんか。



3/17 (金) 消費者啓発教材を 高校生が作成

市消費者センターでは純心女子高等学校と長崎南山高等学校の生徒の皆さんに協力していただき、中学生向け消費者啓発教材(CD)を制作しました。CDにはラジオドラマ風に仕立てた消費者トラブルなどの事例紹介が5本入っています。市内の中学校に配布し、給食時間などの校内放送で活用してもらいます。



3/29 (水) ゆうこうの魅力を発信



長崎市の伝統柑橘「ゆうこう」を継承し、普及するために活動している長崎市ゆうこう振興会会長の中尾 順光^{のぶみつ}さんが、国内初の「ゆうこう」地域特産物マイスターに認定されました。また、目覚町のハム・ソーセージ専門店「Gris House NAGASE」のゆうこうを使用したハムを含む7つの商品が食肉加工品品質コンテストで金賞を受賞しました。